

# 戦争法廃止と立憲主義を取り戻すたまたかの重要性を強調 宮本徹衆院議員を迎えての日本共産党演説会に300人

宮本徹衆院議員を迎えての日本共産党演説会が12日、リージョンプラザで行われました。行事がいろいろあるなかで上越各地から300人ほどの人たちが集まってくださいました。開会前に高校時代の同級生が楽屋まで激励に来てくれたのには感激しました。

上野地区委員長（市議）が開会の挨拶をし、「来春の市議選、参院選で大きく躍進し、国民連合政府をつくらう」と訴えました。平良木市議は、「アベ政治だけでなく、市政も市民の願いと逆のことをやっている」と、「行政改革」の実態や介護保険の新総合事業で生まれているサービスの低下、切り捨てを浮き彫りにしました。私は、市政における無駄を削り、福祉、暮らしの充実を、中山間地域のもっと政治の光を、人口減少対策は子育て支援に全力をあげている岡山県奈義町に学



ぶべきだと訴えました。室内で大勢の人たちが前にしての演説は久しぶりでした。聴衆のみなさんの反応をみながら話すのはいいですね。西沢博参院

新潟選挙区候補も駆け付け、県内でも戦争法廃止、野党は共闘をの声を大きくなっていることを紹介し、その先頭になって頑張る決意を表明しました。

この日のメイン弁士は宮本徹衆院議員（写真）です。宮本議員は、南スーダンへの自衛隊派兵が現実的になってきていること、テロの危険が増してきていること、そういう中で、戦争法廃止と立憲主義を取り戻すたまたかの重要性を強調しました。そのためにも2000万署名をやりきること、市議選、参院選で日本共産党が大きく躍進することが求められていると訴えました。市議選予定候補の活動にまでふれての話には驚きました。

## 12月定例議会、（仮称）厚生産業会館関連の議案を可決

12月定例市議会は15日、上程された全議案を採決しすべて可決しました。この中には、（仮称）厚生産業会館建設に伴う案件が数本入っていました。市道高田公園南堀線をいったん廃止して路線を変えて認定するという案件、それと建設そのものに係わる契約案件です。

このうち、契約案件については、既報の通り、本体工事と電気工事の入札では、数回行われた入札で最低価格を入札した業者が同じになり（「一位不動」といいます）、談合を疑うべき状況が生まれました。

採決に先立つ討論では、平良木議員が「本体建設工事と電気設備工事の入札手続きでは、数回行われた入札で最低価格を入札した業者がいずれも同じである」という事態が生じ



【スズメウリ】ウリ科のつる性1年草。写真は果実。果実は最初は緑色ですが、熟するにつれて灰白色になります。大きさは直径1割ほどです。安塚区の牧野峠を少し下ったところで見つけました。



市内各地でスイセンの花が咲き始めています。これは暖冬の影響でしょうか。写真は吉川区大乘寺で見かけたスイセンです。これから雪にあうと思うと、ちょっとかわいそうです。

採決では、日本共産党議員団が（仮称）厚生産業会館関連案件すべてに反対、本体建設工事と電気設備工事、機械設備工事の契約案件では石平議員も反対しました。

No.1736 2015.12.20

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

はしづめ法一の  
活動レポート

# 春よ来い

## 第三八五回 荒れ模様の日

一人暮らしの親戚のお母さん、T子さんの状態がおかしいという連絡が入ったのは、強い風が吹き、荒れ模様となった日でした。地元の民生委員さんが電話で私に教えてくださったのです。

電話をもらった時はちょうど母が病院で耳鼻咽喉科にかかっている時でした。私が病院を出て、親戚の家に着いたのはその日の午後三時頃です。玄関で声をかけると、東京から戻ってきた娘さんのMさんが出てきました。Mさんはその日の前日、実家から東京へ帰ったばかりでした。じつは、東京へ無事着いたという連絡を実家にしてもT子さんが電話に出ないので、おかしいなと思いい、その日の朝も近所のYさんに様子を見てほしいと連絡していたのです。

居間に入ると、T子さんはコタツのところまで横になっていました。私に連絡をしてくださった民生委員さんもついていてくださいました。T子さんは声が出ず、私をわかっただのかどうかわかりませんが、盛んに手を動かしています。私には、「まあ、あんたまで来てくんなって、もうしゃやけねえね」と伝えようとしているように見えました。

私がT子さんの家にいる間も、ケアマネージャーさんと連絡をとったり、かかりつけのお医者さんに病状を伝えたりするなどの動きがありました。その間に、MさんはT子さんの前日からの様子や近所のYさんやIさん、民生委員さんにお世話になったことなどを話してくれました。私がT子さんの家にいたときは会いませんでしたが、その日、近所の方たちはT子さんのことを心配して、ずっとついていてくださったといひます。

Mさんとかかりつけの医院とのやりとりで、T子さんは最終的には以前入院したことのある病院へ救急車で搬送してもらうことになりました。そのことが確定した後、私は家に戻りました。地元でやらなければならぬ仕事があったからですが、母にも早くT子さんの様子を伝えなかったのです。

母に伝えると、「まあ、そいがか」と心配そうな顔をしました。そのとき、ふと思いだしたので。数週間前に母が原之町へ買い物に行った時、「T子さんどこに寄れば良かった」と言っていたことを。それで母に訊きました。「おまん、どうしるね、T子さんちへ行ってみるかね。救急車が来ないうちに」と。病院までとなると、いまの母の体調からいって、見舞いに行つて会うのは無理です。その時がT子さんに会うには逃してはならない数少ない機会のひとつだと思つたのです。母は「行く」と言いました。

母を車に乗せてT子さん宅に再び行くと、Mさんも民生委員さんも母の姿を見てびっくり、涙を浮かべて喜んでくださいました。ずっと仲良しだった母とT子さん、二人が会うことができればいいなと思つていてくださったのでしようね。それが思いがけず目の前で実現したので。

T子さん宅に母がいたのはほんの数分でした。母の姿を見たT子さんは手を伸ばして、母がかぶっていたネットの帽子に何度も触ろうとしました。母が帰ろうとしたとき、Mさんは、「必ず元氣になつて帰つてきますので、また会つてやってくださいいね」と言いました。しゃべられなくなった母親の代わりに思いを伝えたかったのです。

T子さん宅から家に戻った母は、「ああ、そんで、良かった。T子さん、手を伸ばしておれの帽子に触ろうとしたでも、あの手は『おまんかあ』てがだな」と言つて振り返りました。今度、二人が会うときには、「おまんかあ」「そいが」と言葉を交わしてほしいものです。

## 「集い」では国政から市政までいろんな声

日本共産党上越市議団や地域支部はいま、市内各地で「集い」を開催しています。これは市民のみなさんのご意見、ご要望などをしっかり聴いて、市政などに反映させるために

取り組んでいます。

私の場合は、「橋爪のりかずを囲む会」という名で実施しています。今月は牧区や吉川区などでこれまで5回開催してきました。

このうち牧区で開催した会では約20の方が参加してくださいました。

最初に私の方から、市政や国政について報告しました。（仮称）厚生産業会館の現状については、最新の工事請負契約やその審査の状況などをまじえてお話ししたら、大きな関心を持って聴いてくださいました。また介護保険の改悪、原発事故を想定した避難計画についても報告しました。国政ではやはり安保法制（戦争法）をなくす国民連合政府を、の訴えに関心を寄せていただきました。

懇談の時間はお茶をご馳走になりながら進めました。原発再稼働のこと、高田平野の活断層のことと公共施設の耐震化工事



の状況、それと介護保険改悪問題などでやりとりをしました。原発にたいする不安の声が強かったですね。

懇談の時間では政治以外のことも話題になります。この日の会では私の書いている「春よ来い」が話題にのぼりました。「鉄索」や「もらい風呂」などの話になったら、「嫁に来たときに鉄索があった。うちのところでは高いところから低いところへ運ぶものが中心だった」「当時は風呂場は暗かった。でも、暗い方があかが見えなくて良かった」などの思い出を語る人が次々とあり、大いに盛り上がりました。

上の写真は吉川区での「囲む会」。小田順子さんが朗読をしていてくださるところです。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16  $\mu$  Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月9日(水)	12月16日(水)
上越南消防署	0.050	0.040
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.047	0.057
東頸消防署	0.047	0.060
高士分遣所	0.053	0.053
名立分遣所	0.050	0.053